

国分寺音頭

河藤流家元
振付 河藤 たつろ



○どなたにも踊れる、やさしい輪踊りです。

○進み方は反時計まわりです。

○一つの踊りを、くりかえして踊りつづけますから、どこから踊りはじめても結構です。

○たとえば、前奏八呼間(四小節)を聞いてから踊りはじめますと、後奏の終りが図解⑥の形になります。

はじめ…円陣を作り、円心に向いて踊る用意。

チヨチヨンがチヨン…手拍子を三つ「チヨチヨンがチヨン」とうちます①

一つの…右足を左足の前に踏み入れ、両手を(掌を上に向けて)円くかざします②

二つの…右足を元に引き戻して手拍子一回①

三つの…左足を右足の前に踏み入れ、「一つの」と同様に頭上作円③

四つの…左足を元に引き戻して手拍子一回①

五つの…右足を右横に開き、右手を平らに前にのばし、左手を顔の上にかざします④



六つの…左右の手を振りかえながら、左足を右足の前に交叉⑤

七つの、八つの…「五つの、六つの」の振りをくりかえします④
⑤(ここまでは円心向きの動作です)

九つ、十…右向け右の方向(進行方向)になり、右足から一、二、三と早間に三歩前進、四歩目の左足を軽く後ろにあげます。この間に両手を一度下におろしてから円く頭上にかざします(掌上向き)⑥

十一…両掌を向い合わせにして左下方に流し、あがつている左足を後ろに引いておろします⑦

十二…両手を右下方に流しながら右足後退⑧

十三…両手を左下方に流しながら左足後退⑦

十四…右足を左足に引きそろえながら円心向きになり手拍子一回①

以上で一踊りですから、これをくりかえして踊ります。なお一つの歌詞と次の短かい間奏の間にこの踊りが二回くりかえされるようになっております。(完)